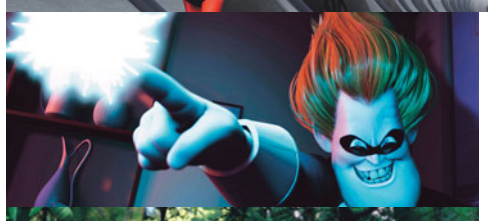
ディズニー／ピクサーが贈る、愛と冒険の〝大人のアニメ〟

引退したスーパー・ヒーローは再び、世界を救えるか!?

「ファインディング・ニモ」から1年。ディズニー／ピクサーが贈る待望の最新作「Mr.インクレディブル」が、12月4日（土）からいよいよ公開されます。今回の主人公は、世界を救うことを禁じられた（!）、スーパー・ヒーロー。〝インクレディブル〟な彼らが繰り広げる愛と冒険の物語、その魅力を公開に先がけて2週連続で特集します。

Mr.インクレディブル
12月4日（土）から
梅田ピカデリーほかで公開



おもちゃ、モンスター、海の魚など、誰もに愛されるキャラクターを次々と生みだし、観客を常に夢と冒険の世界へ連れ出してくれるディズニー／ピクサー。

待望の最新作「Mr.インクレディブル」では、初めて人間が、正確には…、スーパーパワーを秘めた家族が主人公となり、カッコいいアクション、冒険、そして、温かなきずなが描かれます。

といっても、才気あふれるディズニー／ピクサーのこと。単なる〝スーパー・ヒーロー〟とはいかず、引退に追い込まれ（一般市民からの訴訟に敗訴したという、いかにもアメリカらしい理由で!）、今はひっそりと人間社会の中で暮らしている〝元・ヒーロー〟をクローズアップ。

正義のために闘い、多くの人を救ってきた黄金時代を忘れられないMr.インクレディブル、夢をあきらめきれない夫を心配するインクレディブル夫人、それぞれの悩みを抱える息子と娘たち…。彼らの抱える何とも複雑で切ない感情は、これまでのディズニー／ピクサー作品とはひと味違う、大人の世界観。そこに、手に汗握るアクション・エンターテインメントと夢いっぱいのファンタジーが重なって、まさに映画の醍醐味をたっぷりと味わえる作品に仕上がっています。

この〝インクレディブル〟な（＝信じられないほど素晴らしい）家族と一緒に、ハラハラドキドキ、大冒険の2時間を楽しんで。

ディテールまで見逃せないスタイリッシュな世界観

「Mr.インクレディブル」は、そのスタイリッシュな世界観も話題。スーパー・ヒーローたちがまとう衣装やインテリア、劇中で流れるサウンドなど、作品全体が高感度なセンスで統一。〝大人のアニメ〟にふさわしいこのテイストにも、ディズニー／ピクサーの新境地がうかがえます。クリエーターたちの遊び心や細かい仕掛けがたっぷり詰まったディテールまで、決して見逃せません よ！ ※配給＝ブエナ ビスタ インターナショナル ジャパン。12月4日（土）から梅田ピカデリーほかで公開。

Mr.インクレディブル
家族を愛する元スーパー・ヒーロー。猛スピードの電車も止められるメガ・パワーの持ち主で、強靭な肉体は、あらゆる衝撃に耐えられる。保険会社のサラリーマンとして働きながら、現役カムバックを願う。

インクレディブル夫人
Mr.インクレディブルと職場結婚し、スーパー・レディを引退。どんな形にも変えられる伸縮自在のボディを持つものの、今は、何より家族との平穏な毎日を望んでいる。

ヴァイオレット
インクレディブル家の長女。特殊なバリアをはれたり、透明になれるスーパー・パワーを持つが、そのために普通の恋愛ができないと悩む思春期の日々。とても内気。

ダッシュ
インクレディブル家の長男。負けず嫌いで目立ちたがり屋。ビデオカメラでも捕らえられない超高速の足を持つが、母親にそのパワーの使用を禁じられている。

ジャック・ジャック
インクレディブル家の次男。現在、家族の中でただ一人、特殊能力に目覚めていない…。

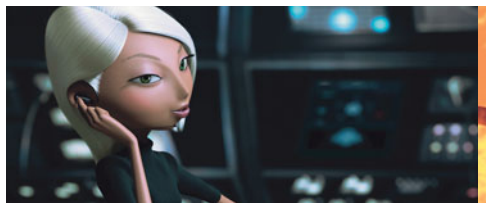
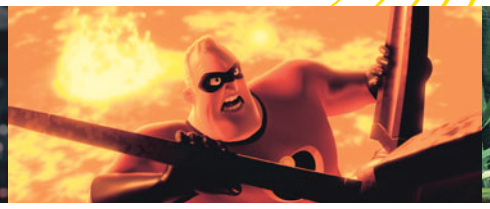
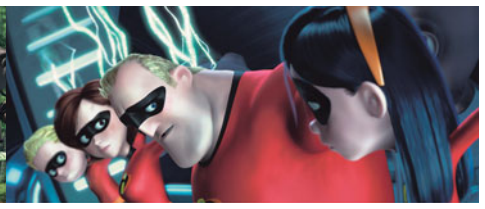
©DISNEY/PIXAR

全編でストリング系の音がすごくいい感じ

KIYOMIさん

「Mr.インクレディブル」の日本語吹き替え版で、大阪代表として〝ある登場人物〟の声優を務めたDJ、KIYOMIさん。収録現場の様子や作品の魅力について語ってくれました。

最初にお話をいただいたのは、今年の春頃。ディズニー／ピクサーの最新作という情報だけだったんですが、もう、うれしくてうれしくて。「私でいいんですか?」という状態でした。その後、オーディションがあり、最終的には8月の初めに、アメリカ本社が選んだ14人に決まったんです。私の誕生日が8月10日なので、すごいビッグプレゼントになりました。収録が行われたのは、東京のディズニースタジオ。最初は、ガヤ撮りといって、ワーとかキャーとかをみんなで叫ぶシーンだったんですが、「誰かきっかけを作ってください」と言われ、関西人根性で名乗りをあげました（笑い）。その後、それぞれの収録に。私は映画のクライマックスで登場する〝ある人物〟を担当したんですが、思いのほかあっさりとOKが出てしまい…。逆に寂しいくらいでした（笑い）。セリフはほんの少しだけれど、〝赤い服の女性〟をぜひ劇場でチェックしてくださいね。この映画は、とにかくカッコいいんです。全編を通して、ストリング系の音がすごくいい感じで入っているし、ストーリーも、単なる家族愛というんじゃなくて、誰が欠けても闘い切れないという展開に、最後までこだわっている。それに、セリフがアメリカの日常会話そのものなのも面白いですね。全然、男前じゃないけれど、人間味いっぱいのMr.インクレディブルが、どんどんステキに見えてくると思いますよ。

Story

保険会社で働く平凡なサラリーマン、ボブ・パー。実は彼の正体は、15年前まで、史上No.1の人気を誇った、元スーパー・ヒーロー、Mr.インクレディブル。しかし、あまりのパワーが時に一般市民の生活にダメージを与えたため、訴訟で敗訴し引退を余儀なくされるはめに。元スーパー・レディの妻と結婚し、3人の子供に恵まれたものの、今でも、あの栄光が忘れられず、「再び世界を救いたい」と切ない思いを募らせる毎日。そんなある日、彼のもとに、「ある事態収拾のために、あなたの特殊能力が必要だ」とする指令が届く。秘密の島へと飛ぶ彼、そして、家族の運命は…。